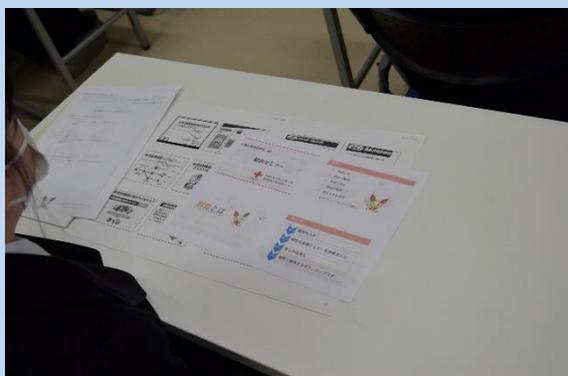


献血セミナー(3年生)

1月23日(月)6限目の3年生HR活動に、島根県赤十字血液センター庄司寛隆さん、ヘルスサイエンスセンターしまねまごころバンク兒玉理恵さんにお越しいただき、献血セミナーを行いました。

若者の献血離れやコロナ禍での献血者不足など、今後、更に献血者が不足すると予測されており、若者の献血者を増やすことを目的として献血の必要性や現状、骨髄バンクの紹介などをしていただきました。



<生徒の感想です(一部抜粋)>

- ・血液はほとんど事故の人に使うと思っていたが、献血の8割はガンなどの病気の人に使うことを初めて知った。
- ・毎日14,000人分の献血が必要なことに驚いた。若い世代が協力することが必要だと思った。
- ・お店などで献血バスをよく見かけるが、どんな流れで献血をしているのかがよくわかった。

- ・運転免許証の裏にドナー登録をするところがあり、協力したいと思った。
- ・献血や骨髄移植ともに、いろいろな条件があることもわかった。
- ・献血が人の命を救っていることがわかり、助けになりたいと思った。



DVD視聴では、献血によって命をつないでいく子どもの様子を、みんな感動しながら静かに見入っていました。